



東丘小だより

校長 河田 法士

令和6年(2024年) 8月26日発行 第6号

学年	1	2	3	4	5	6	計
児童数(8/26現在)	86	98	98	112	116	89	599

『主体性』と『当事者意識』の涵養

ついに?とうとう?いよいよ???夏休みを終え、2学期が始まりました。1学期は70日、2学期は83日と少しロングになります。前半は残暑との闘い、中盤は運動会に向けた取組、後半は校外学習から2学期のまとめと、始まる前には『長いな〜』と感じても、過ぎてしまえば“あつという間”に感じるのかもしれない。(でもやっぱり長いです…(;_ _))

先日、横浜創英中学・高等学校の元校長である工藤勇一氏の講演を聞く機会がありました。工藤氏は、千代田区立麴町中学校でも学校改革に取り組まれた方で、書籍も多数執筆されています。世界の教育事情と日本の教育の現状について、また『主体性』『当事者意識』の重要性についてのお話でした。

講演の中で「手をかければかけるほど生徒は出来なくなり、自分がうまくいかないことを誰かのせいにするようになる。主体性を失い、自分も他人も嫌いになる。不幸な気持ちになる。」というお話がありました。言葉や文章だけみれば取り方も分かれるところはありますが、主体性・自主性・自発性の言葉の意味を指導する側が適切に捉えた上で子どもたちに向き合っているのかどうかにより大きな違いが生まれる、という点においては私の中でも大きく頷ける部分がありました。

当事者意識についても、「大人が警察署や裁判所になると解決できなくなる」という、これまた言葉が全てではないたっぷり行間を含んだ内容であると感じました。

現在の多様な社会の中で、自己決定が出来る子どもたちを育てたいと願うなら、『厳しく叱る教育と甘やかす教育は対局でも自己決定をさせていない事は同じである』ともおっしゃっていましたが、たしかにそうであるとともに、時には叱咤激励や意図して甘えさせることも大切なかもしれません。

その見極めは、未来を切り拓く子どもたちを育てる大人に課せられた重要な役割なのかもしれません。校長として…はもちろんのことですが、まずは同じ子をもつ親としてもしっかりと意識しながら、2学期も子どもたちとしっかりと向き合っていきたいと思えます。

それ以上もそれ以下もなく…(冒険心・探求心)



8月に奈良であった会議の基調講演にて、(株)mont—bellの創業者である辰野勇氏のお話を聞くことができました。“挑戦”というより“冒険”の体現者である辰野氏の『3人のレンガ積み』のお話から…。言われたことをしっかりこなすことが出来る人はたくさんいて、それはそれで間違いなく素晴らしいことだと思います。が…、と。

以前少し有名になった、『お風呂見てきて』と頼まれたので『見て来たよ!』というやりとり。見てくれたのでてっきり安心してその後に見に行くと、お風呂のお湯が溢れかえっている。『お風呂見てきてって言ったじゃないの?』という『見たよ(#`Д´)』と。『ならなぜお湯を止めなかったの?』と聞くと『だって“お風呂見てきて”っていったじゃん…。』このやり取りから何が言いたいかという、『ん、なんで?』『何も考えなかったの?』『言われた言葉を額面通りにそのまま受け止めた?』『ふつうは…』と思う人もいるかと思いますが、その人にとっては言われたことをそのまま忠実に行動しただけ。それ以上でもそれ以下でもありません。最近に言われ始めたわけではありませんが、“想像力”や“思い描く”というチカラ。“行間を読む”もそうでしょうか。基調講演のあった近畿の校長大会の趣旨にも『自ら未来を拓き』という言葉がありました。

八中校区の学校目標にもある『未来を切り拓く力』。その“チカラ”を涵養するという重要な役割を担う我々教職員こそが、豊かな想像力をもって子どもたちと接していきたいと思えます。

チャレンジ⇒失敗⇒?

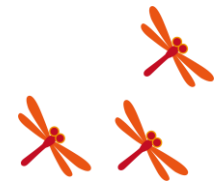
1学期の終業式、夏の過ごし方について2023年の私の夏の思い出を紹介しながら『良い夏の時間を!』という予定でした。これまでも双方向や通信での全校配信は行っており、今度はTEAMSを活用して話をするために準備万端…のつもりでしたが、当日の朝になって画像が進まないという不測の不具合が起こり、場所を変えたりつなぎ直しをしながらも結局うまくいかず…、てんやわんやのままとりあえず『良い夏を!』と伝えて終了するという、なんともドタバタな式となってしまいました。夏休み前という時期を逃してしまったので、終業式の分はそのままお蔵入りも考えましたが、その内容を改良し、2024年の夏も新たに加えたリニューアルしたもので再チャレンジすることにしました。

粘り強い、失敗は成功の素、七転び八起き、逆に懲りない、諦めが悪い、七転八倒という説もありますが、以前一緒に仕事をしていたお偉い先生の「たとえうまくいなくても、しっかり振り返ってまた前向きにチャレンジし続ければそれは失敗とは呼びません。」というありがたいお言葉を励みに、朝の貴重な時間をしぶとく先生方に理解と協力を得ながらの配信始業式にしました。もしも今回うまくいかなければ、心が折れて当分の間立ち直らないと思います。(笑)

子どもたちは夏休みがある理由や世界の夏休みについて考え、自分なりの夏らしい過ごし方ができたかどうか?を問いかけています。600人600通りの“夏”を教室や友だちに発信して、お互いの夏の間を想像しながらしっかりと共感・共有して欲しいと思えます。



9月の行事予定



1	日		
2	月	二測定(4年)	B 週
3	火	二測定(3年) ふれアート(5年)	
4	水	二測定(2年) 40分授業(13:40下校)	
5	木	二測定(1年) ふれアート(4-2)	
6	金	二測定(未の人)	SSW10-17
7	土		
8	日		
9	月	非行防止教室(5年)	A 週
10	火	短縮授業(13:20下校)	
11	水	LGBTQ教育(6年) 委員会③	
12	木	短縮授業(13:20下校)	
13	金	短縮授業(13:20下校)	SSW10-17
14	土		
15	日		
16	月	敬老の日	
17	火	月曜時間割 石拾い週間(~20日)	B 週
18	水	全校朝会 クラブ③	
19	木		
20	金	合同あいさつ運動	
21	土		
22	日	秋分の日	
23	月	振替休日	
24	火		A 週
25	水	研究授業(2-1) 13:20~14:05 その他:13:00下校	
26	木		
27	金	のびゆく子ども配付	
28	土		
29	日		
30	月	後期開始 運動会練習開始 教育実習開始(~10/25)	B 週

【10月の主な予定】

19日(土)運動会 [23日(水)運動会予備日:給食あり]

21日(月)代休 29日(火)不審者対応訓練 30日(水)SNS講習